

令和3年度郡山市内におけるICTツール（MCS）の活用状況調査について

1. 調査の主旨について

郡山市在宅医療・介護連携支援センターでは、在宅医療介護連携推進事業の一環であるICTツールの普及・啓発活動を進めて参りました。郡山医師会では数あるICTツールから、MCS（メディカルケアステーション）を選定し、市内での普及を進めている次第です。令和4年度3月1日現在、MCS内に開設しておりますコミュニティグループ「郡山医師会多職種連携ネット」の登録者が235名となりました。令和3年4月時点での登録者が145名であった為、約90人近く増加している状況があります。

今回は、MCSがどのように活用され、どのような課題があるか明確化し、令和4年度の事業を検討する為に活用状況の調査を実施しました。調査結果に関しては以下の通りです。今後、市内の医療と介護の連携がよりスムーズに進むよう、センターとして精進して参ります。今後とも宜しくお願い致します。

2. 調査対象者について

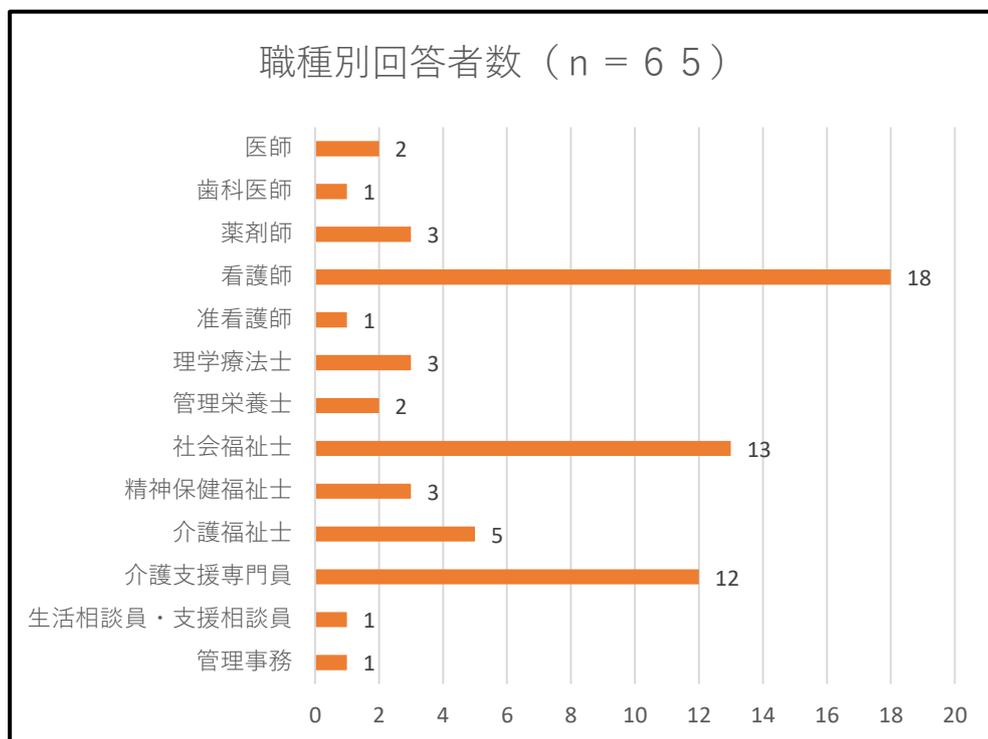
MCS内に開設しているコミュニティグループ「郡山医師会多職種連携ネット」に登録して頂いている235名を対象に調査を実施。

- ・調査開始日：令和4年3月04日（金）
- ・調査終了日：令和4年3月18日（金）
- ・回答者：登録者235名中、65名
- ・回答率：27.6%
- ・調査方法：GoogleFormによるウェブアンケート

3. アンケート結果について

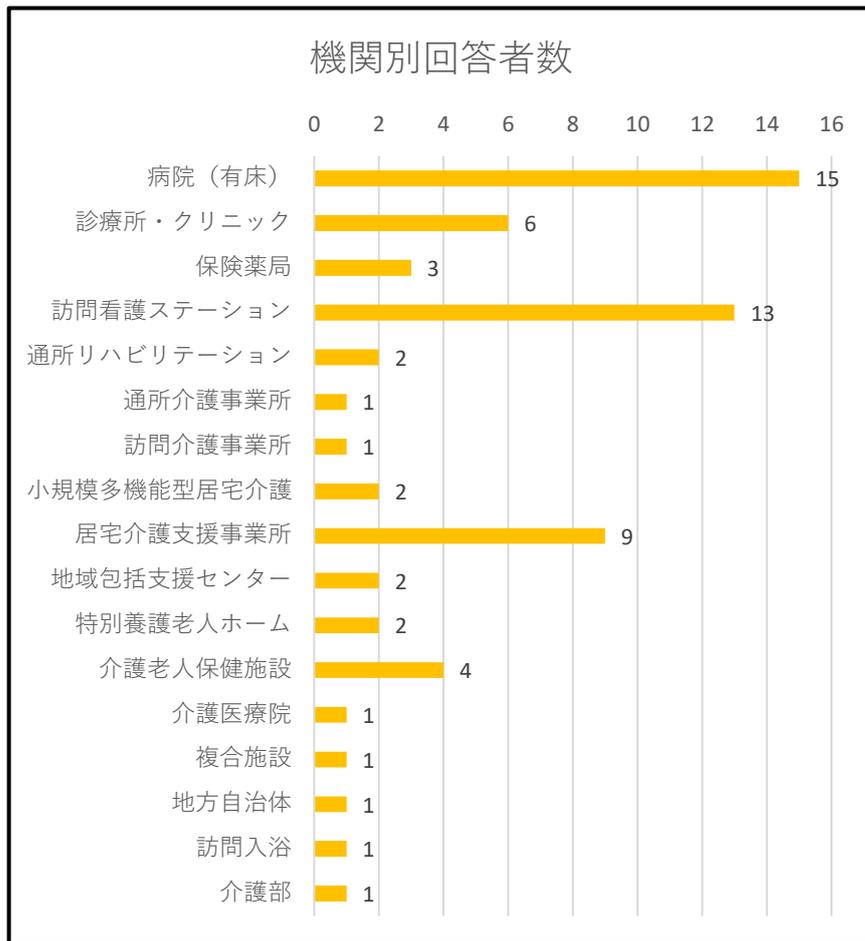
①回答者の職種をご選択ください。※複数ライセンスを保有する場合、メインライセンスをお答え下さい。

職種名	回答者数
医師	2
歯科医師	1
薬剤師	3
看護師	18
准看護師	1
理学療法士	3
管理栄養士	2
社会福祉士	13
精神保健福祉士	3
介護福祉士	5
介護支援専門員	12
生活相談員・支援相談員	1
管理事務	1
合計（n = 65）	65



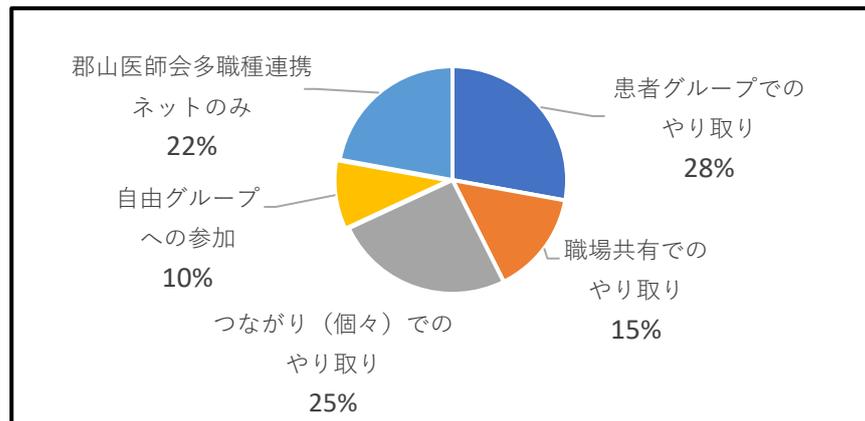
②所属先機関をご選択ください

機関種別	回答機関数
病院（有床）	15
診療所・クリニック	6
保険薬局	3
訪問看護ステーション	13
通所リハビリテーション	2
通所介護事業所	1
訪問介護事業所	1
小規模多機能型居宅介護	2
居宅介護支援事業所	9
地域包括支援センター	2
特別養護老人ホーム	2
介護老人保健施設	4
介護医療院	1
複合施設	1
地方自治体	1
訪問入浴	1
介護部	1
合計（n = 65）	65



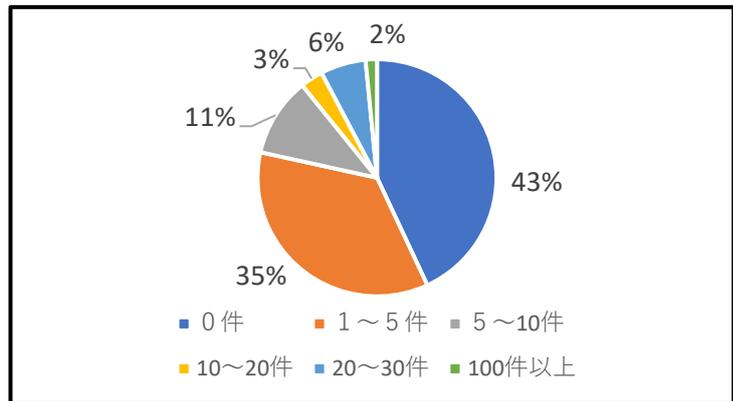
③MCSの活用内容についてお聞かせください。※複数選択可能

	回答数
患者グループでのやり取り	34
職場共有でのやり取り	18
つながり（個々）でのやり取り	31
自由グループへの参加	12
郡山医師会多職種連携ネットのみ	27
合計	122



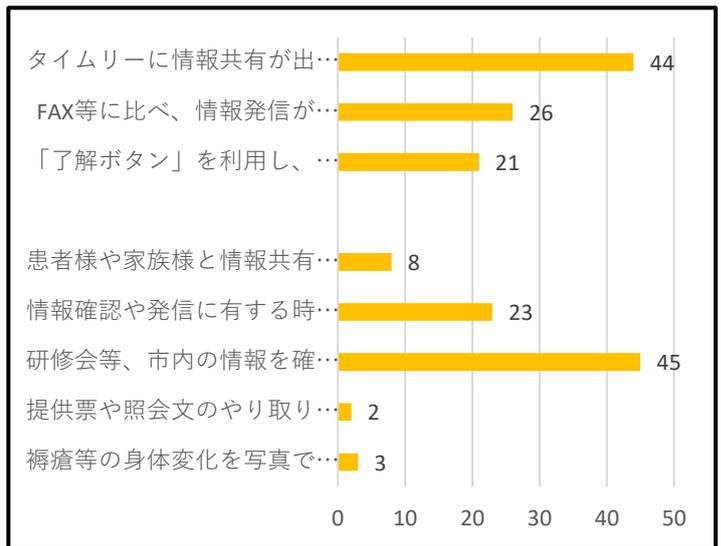
④今年度運用している患者グループの数をお聞かせください。

	回答数
0件	28
1～5件	23
5～10件	7
10～20件	2
20～30件	4
100件以上	1
合計（n = 65）	65



⑤MCSを利用して良かった事をお知らせください。※複数選択可能

	回答数
タイムリーに情報共有が出来るようになった	44
FAX等に比べ、情報発信がしやすくなった	26
「了解ボタン」を利用し、折り返しの連絡が少なくなった	21
患者様や家族様と情報共有がしやすくなった	8
情報確認や発信に有する時間が短縮された	23
研修会等、市内の情報を確認しやすくなった	45
提供票や照会文のやり取りがスムーズになった	2
褥瘡等の身体変化を写真で共有できる	3
合計	172



⑥MCSを利用してみてのご意見や課題等ありましたらお聞かせください。

【利点】

- ・郡山医師会多職種連携ネットにより研修案内等のさまざまな情報を得られるようになった。
- ・研修会や感染の情報のみならず、災害時の情報共有が出来、とても助かってます。
- ・地域の情報が入ってくるのは、とてもいい。
- ・情報発信や収集がしやすくなった。
- ・多職種、事業所の研修案内も含め、情報や連携の幅が広がった。
- ・MCSを活用することで業務の効率化が進んだ。
- ・医療職と介護職との情報共有がしやすく、ツールとしても利用しやすい。
- ・多職種間の情報共有がしやすい。
- ・医療関係者への情報発信や報告に関しては緊張しますが、写真や経過報告書等を用いることで伝えやすくなり、急ぎの要件で無ければ、業務時間内に先方のご都合を気にしないで送れるのはとても有難いです。
- ・多職種の意見を聞くことで気づきが得られました。今後も研修会等でグループワークを取り入れてほしいと思いました。
- ・MCSでの情報確認をする機会が増えました。
- ・退院支援をした患者様が、地域に戻ってどのように過ごしているか患者グループを利用することで把握することが出来ている。地域の支援体制等を知る事で勉強になります。
- ・つながりを活用して連絡を取る事で、支援に関するコンサルテーションを受けたり、個々の情報共有が出来たりと使いやすく便利だと感じています。
- ・写真や動画のやり取りの機会が増えました。
- ・タイムリーな情報発信や受診が出来、了解ボタンを利用して対応できるのが業務の効率化に繋がっている。

【課題】

- ・郡山医師会多職種連携ネットに関して、地域とのつながりに消極的な人や、つながりを懸念する人もいる為、なかなか加入を進めにくい現状がある。
- ・情報共有ツールに営業内容を入れるのは少し違うように感じる。今後ルールを決める必要があるのでは。
- ・もっと加入者が増えると良いのではないか
- ・令和3年度で加入数がかなり増えたので、このまま加入数を増やしてほしい。

⑦郡山市在宅医療・介護連携支援センターへのご意見・ご要望等ございましたらお聞かせください。

- ・いつもありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。
- ・いつも丁寧に対応して下さるのでありがたいと考えております。今後も医療と介護のネットワークを広げ、繋ぎ合わせる機能を活かしてほしい。
- ・いつもありがとうございます。郡山市内のお役に立てるようスタッフ一同業務に邁進していきます。今後とも宜しくお願い致します。
- ・相談できる場所がある事は、とても心強いです。今後とも宜しくお願い致します。
- ・参加して間もない為、あまりMCSを活用出来てませんが、今後とも宜しくお願い致します。
- ・MCSによりネットワーク活動が見え、頼りに感じました。これからも宜しくお願い致します。
- ・郡山市内におけるBCP策定及び有事を想定した訓練等の必要性が高くなってきている。郡山市を含め、有事の際のBCPとMCSの活用について進めて行ってほしい。
- ・参加して良かったと思ってます。
- ・MCSという新しいつながりが出来、ほっとしてます。大いに活用していきたいと思えます。
- ・いつも細やかな情報発信をしていただき、感謝しております。
- ・事業所等の細かい特徴や研修案内等をタイムリーに情報発信して頂き、ありがとうございます。
- ・地域連携の課題解決に向け、ハブとなり支援頂けること有難いと思ってます。
- ・MCSは一度使えば利便性を実感できます。更なる普及を進めて欲しい。郡山市内の個人情報管理に関する運用規定等があれば尚良いと思えます。
- ・MCSというプラットフォームで情報共有が出来る土壌が出来たため、地域で活用していきたいところです。

⑧今回の調査内容からの考察と課題

今回のアンケート調査により、新規加入数の増加・多職種連携コミュニティグループでの情報発信の効果・個別患者グループの活用状況を確認する事が出来た。登録数が増加しているが、アンケート調査の回答率が低い状況があり、支援センターとして更なる活動を行い、調査に協力頂ける体制の構築が必要であると改めて感じた。また、令和3年度より多職種連携コミュニティグループでの情報発信を実施し、情報発信や共有がしやすくなったとの意見を多く寄せてもらう事が出来た。現在、多職種に有益な情報を発信する事をルールとして運用しているが、今後参加人数が更に増加していくことを考え、郡山市内でのMCSの活用に関する規定を利用して頂いている皆様と検討する必要があると感じる。患者グループに関しては、全体の57%が活用しているとの回答を得ることが出来た。市内での加入数増加に向けた普及・啓発活動並びに活用に向けた研修会等を進めて行きたい。このアンケート調査機関内に震度5以上の地震があったが、多職種連携コミュニティグループで被害状況の発信や確認をすることが出来た。今回は市内の医療機関11機関と、介護関係や障がい福祉関係事業所10機関から情報を寄せて頂く事が出来、コミュニティグループ参加者からは「以前は情報が把握できなかったが、今回はすぐに情報を確認し対応出来た。とても有難かった。」との声を多数寄せてもらう事が出来た。

今後の課題としては、①市内におけるMCSの更なる普及・啓発活動の実施 ②郡山市独自の運用規定等の検討 ③BCPを踏まえた災害時に備えMCSの活用の具体化の検討 ④MCS活用に関する研修会の実施 を支援センターとして進めて行きたい。